

*出力条件
 *会計年度：R1
 *出力帳票選択：財務書類
 *団体区分：一般会計等
 *団体／会計コード：
 *出力範囲：年次
 *出力金額単位：円

貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	23,812,012,120	固定負債	8,983,061,609
有形固定資産	23,802,768,886	地方債	8,983,061,609
事業用資産	23,254,888,764	長期未払金	-
土地	4,564,457,291	退職手当引当金	-
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	10,027,754,972	その他	-
建物減価償却累計額	△ 1,612,991,667	流動負債	1,134,516,617
工作物	14,744,398,866	1年内償還予定地方債	1,114,631,900
工作物減価償却累計額	△ 4,468,730,698	未払金	-
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	-
航空機	-	預り金	19,884,717
航空機減価償却累計額	-	その他	-
その他	-	負債合計	10,117,578,226
その他減価償却累計額	-	【純資産の部】	
建設仮勘定	-	固定資産等形成分	9,906,657,637
インフラ資産	519,039,653	余剰分(不足分)	4,622,841,910
土地	-		
建物	30,055,190		
建物減価償却累計額	-		
工作物	493,247,889		
工作物減価償却累計額	△ 4,263,426		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	-		
物品	156,898,156		
物品減価償却累計額	△ 128,057,687		
無形固定資産	9,243,234		
ソフトウェア	9,243,234		
その他	-		
投資その他の資産	-		
投資及び出資金	-		
有価証券	-		
出資金	-		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	-		
長期貸付金	-		
基金	-		
減債基金	-		
その他	-		
その他	-		
徴収不能引当金	-		
流動資産	835,065,653		
現金預金	835,065,653		
未収金	-		
短期貸付金	-		
基金	-		
財政調整基金	-		
減債基金	-		
棚卸資産	-		
その他	-		
徴収不能引当金	-		
資産合計	24,647,077,773	純資産合計	14,529,499,547
		負債及び純資産合計	24,647,077,773

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

- *出力条件
- *会計年度：R1
- *出力帳票選択：財務書類
- *団体区分：一般会計等
- *団体／会計コード：
- *出力範囲：年次
- *出力金額単位：円

行政コスト及び純資産変動計算書

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

(単位:円)

科目	金額		
経常費用	3,926,967,078		
業務費用	3,809,503,800		
人件費	734,108,103		
職員給与費	721,481,240		
賞与等引当金繰入額	-		
退職手当引当金繰入額	-		
その他	12,626,863		
物件費等	3,011,969,357		
物件費	1,234,481,089		
維持補修費	505,010,194		
減価償却費	1,263,672,322		
その他	8,805,752		
その他の業務費用	63,426,340		
支払利息	56,247,740		
徴収不能引当金繰入額	-		
その他	7,178,600		
移転費用	117,463,278		
補助金等	117,417,678		
社会保障給付	-		
他会計への繰出金	-		
その他	45,600		
経常収益	1,631,474,524		
使用料及び手数料	577,562,233		
その他	1,053,912,291		
純経常行政コスト	2,295,492,554		
臨時損失	-		
災害復旧事業費	-		
資産除売却損	-		
投資損失引当金繰入額	-		
損失補償等引当金繰入額	-		
その他	-		
臨時利益	-		
資産売却益	-		
その他	-		
純行政コスト	2,295,492,554		
財源	2,428,819,000		
税収等	2,428,819,000		
国県等補助金	-		
本年度差額	133,326,446		
固定資産等の変動(内部変動)		金額	
有形固定資産等の増加		△ 837,221,347	837,221,347
有形固定資産等の減少		421,625,535	△ 421,625,535
貸付金・基金等の増加		△ 1,258,846,882	1,258,846,882
貸付金・基金等の減少		-	-
資産評価差額	-	-	-
無償所管換等	-	-	-
その他	-	-	-
本年度純資産変動額	133,326,446	△ 837,221,347	970,547,793
前年度末純資産残高	14,396,173,101	10,743,878,984	3,652,294,117
本年度末純資産残高	14,529,499,547	9,906,657,637	4,622,841,910

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

*出力条件
 *会計年度：R1
 *出力帳票選択：財務書類
 *団体区分：一般会計等
 *団体／会計コード：
 *出力範囲：年次
 *出力金額単位：円

資金収支計算書

自 平成31年4月1日
 至 令和2年3月31日

(単位：円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	2,663,294,756
業務費用支出	2,545,831,478
人件費支出	734,108,103
物件費等支出	1,748,297,035
支払利息支出	56,247,740
その他の支出	7,178,600
移転費用支出	117,463,278
補助金等支出	117,417,678
社会保障給付支出	-
他会計への繰出支出	-
その他の支出	45,600
業務収入	4,060,293,524
税込等収入	2,428,819,000
国県等補助金収入	-
使用料及び手数料収入	577,562,233
その他の収入	1,053,912,291
臨時支出	-
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	-
臨時収入	-
業務活動収支	1,396,998,768
【投資活動収支】	
投資活動支出	304,530,954
公共施設等整備費支出	304,530,954
基金積立金支出	-
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	-
その他の支出	-
投資活動収入	-
国県等補助金収入	-
基金取崩収入	-
貸付金元金回収収入	-
資産売却収入	-
その他の収入	-
投資活動収支	△ 304,530,954
【財務活動収支】	
財務活動支出	1,100,028,139
地方債償還支出	1,100,028,139
その他の支出	-
財務活動収入	112,400,000
地方債発行収入	112,400,000
その他の収入	-
財務活動収支	△ 987,628,139
本年度資金収支額	104,839,675
前年度末資金残高	710,341,261
本年度末資金残高	815,180,936

前年度末歳計外現金残高	103,840,195
本年度歳計外現金増減額	△ 83,955,478
本年度末歳計外現金残高	19,884,717
本年度末現金預金残高	835,065,653

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

1. 重要な会計方針

有形固定資産等の評価基準及び評価方法

- ①有形固定資産・・・取得原価
ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。
 - ア 昭和59年度以前に取得したもの・・・再調達原価
 - イ 昭和60年度以降に取得したもの
取得原価が判明しているもの・・・取得原価
取得原価が不明なもの・・・再調達原価
- ②無形固定資産・・・取得原価
ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。
 - 取得原価が判明しているもの・・・取得原価
 - 取得原価が不明なもの・・・再調達原価

有価証券等の評価基準及び評価方法

該当する資産はありません。

有形固定資産等の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除きます。）・・・定額法
- ②無形固定資産（リース資産を除きます。）・・・定額法
なお、ソフトウェアについては、当組合における見込利用機関（5年）に基づく定額法によっています。
- ③リース資産
 - ア 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が1年以内のリース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）
・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法
 - イ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
・・・リース期間を耐用年数とし、残存価値をゼロとする定額法

引当金の計上基準及び算定方法

該当する資産等はありません。

リース取引の処理方法

- ①ファイナンス・リース取引
 - ア 所有権移転ファイナンス・リース取引（リース期間が1年以内のリース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）
・・・通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。
 - イ ア以外のファイナンス・リース取引
・・・通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。
- ②オペレーティング・リース取引
通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

資金収支計算書における資金の範囲

現金及び現金同等物

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

2. 重要な会計方針の変更等

3. 重要な後発事象

4. 偶発債務

5. 追加情報

対象範囲（対象とする会計名）

共通経費勘定
ごみ処理施設勘定
リサイクル施設勘定
ごみ焼却施設勘定
単独品目勘定

出納整理期間について、出納整理期間が設けられている旨（根拠条文を含みます。）及び出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としている旨

地方自治法292条において準用する同法235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。